



# いろは呑龍新聞

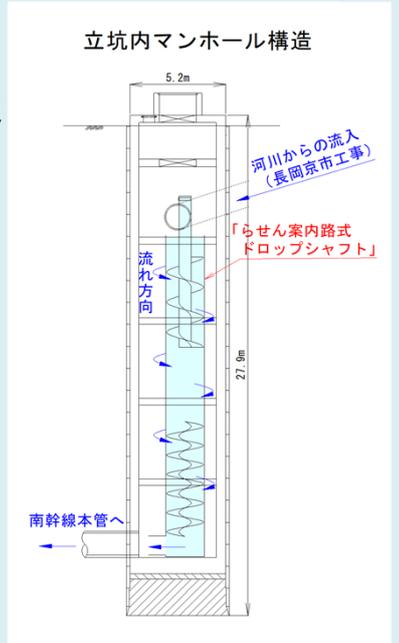
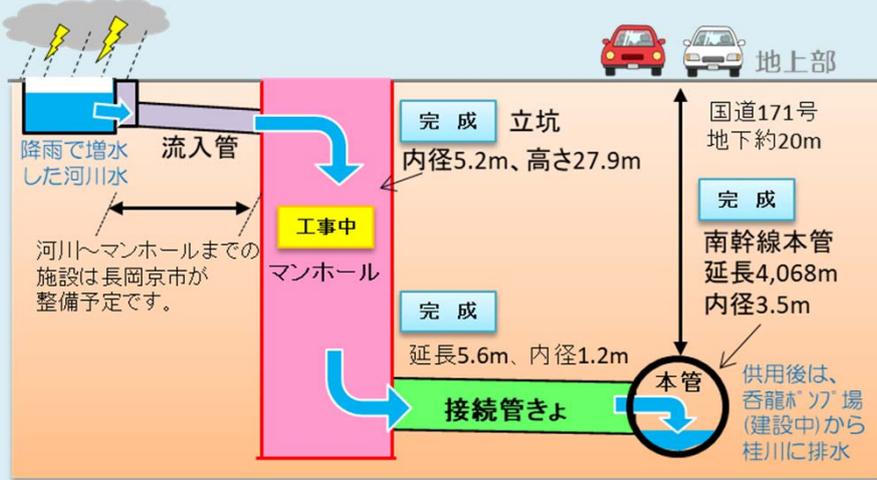
2020年(令和2年)9月号  
第57号

五間堀川5接続施設 マンホール工事を開始しました！

## マンホール工事について

五間堀川5接続施設は、令和2年6月に南幹線本管へ接続する管きよの工事が完了し、現在、立坑内にマンホールを築造する工事を施工中です。

河川の流入管から南幹線本管までは約20mの高落差があり、スムーズに河川水を流すために本施設では、「らせん案内路式ドロップシャフト」を採用しています。

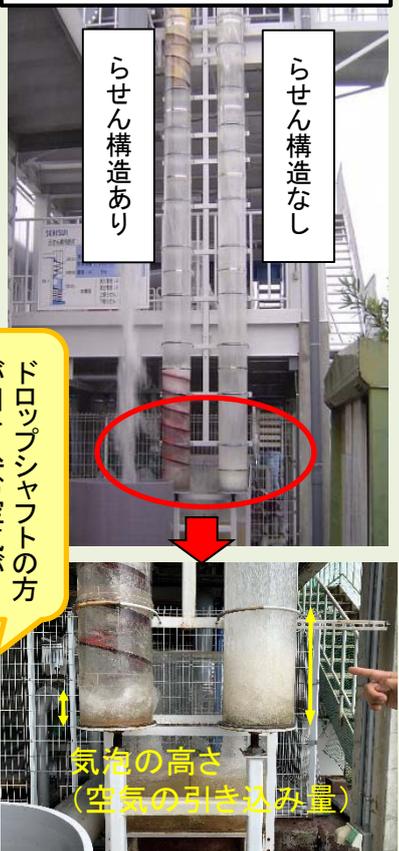


## らせん案内路式ドロップシャフトについて

ドロップシャフトは、らせん状に水を流すことで、高落差による水の落下時の衝撃を低減し、マンホール底部の洗掘及び騒音を少なくすることができます。

さらに、空気の引き込み量が減少し、マンホール蓋の飛散事故も抑制できます。らせん案内路式ドロップシャフト設置状況を段階的に写真で紹介します。

## ドロップシャフト模型 流入実験



▲ マンホール工事前の立坑です。この立坑の中にマンホールを築造します。



▲ 立坑内にコンクリートを打設し、ドロップシャフトを設置する開口部を設けています。



▲ 開口部を設けていた箇所にドロップシャフトを設置します。



▲ 河川水はらせん状に地下約20mまで流れます。